

健康経営・産業保健活動実績値報告 (2022.10.13 現在)

2022年10月13日

従業員と家族の健康を推進する委員会

【トップの健康経営に対するメッセージ】

従業員が健康でなければ、企業に未来はない

人生100年時代、「寿命が100歳前後まで、今後伸びていくにあたり、国・組織・個人がライフコースの見直し」を迫られています。要は、高齢化社会になり、一方少子化が進み、結果として労働生産人口が減少するという予測です。今後、アース製薬の未来を考えたときに、従業員とその家族が、1日でも長く健康でいていただくためには何が必要か、を考えたときに「健康経営」への取り組みを開始しました。組織・個人がより良い未来を築けるように、共に取り組みを進めております。

【健康投資施策の取り組み状況に関する実績値・指標】

- ・定期健康診断受診率：2021年度100% 2020年度100%
- ・定期健康診断結果 健診判定「要精密検査」もしくはアース基準「レッドガード」者受診勧奨率 2021年度100%
受診率 2021年度81.2% 2020年度32%
- ・ストレスチェック受検率：2022年度100% 2021年度100% 2020年度100%
- ・平均月間所定外労働時間（正社員）2021年10時間
- ・入社3年後の定着率：2021年94.9% 2020年90.6% 2019年77.8%
- ・プレゼンティーズムによる年間損失割合：2021年度17.51% 2020年度19.4%
- ・アブセンティーズムによる年間損失割合：2021年度0.33% 2020年度0.42%
- ・ワークエンゲージメント（自社独自の従業員満足度調査に付随して「いきいきと活力を得て自主的で前向きなエネルギーで仕事に取り組んでいるかについて5段階（0=全くない-5=いつも感じる）で測定」
2021年度3.5点 2020年度3.5点
- ・ストレスチェック高ストレス該当者割合：2021年度15%

【従業員の意識変容・行動変容に関する指標】

- ・喫煙率：2021年度22.2% 2020年度23.5% 2018年度27.9% 2017年度28.6%
- ・運動習慣者比率：2021年度24.6% 2020年度24%

【健康関連施策立案の根拠】

現在、健康関連指標について全国平均値や各省庁が掲げている目標値に達していない項目がある。また、達していても当社として改善の必要性を感じている項目がある。同業他社やグループ企業平均値、各省庁が掲げている目標値等を参考に目標値を設定した。

- ・社員への健康アンケートにて健康上問題を感じているとの回答が多かった項目について少なくとも1年に3回

以上セミナーを実施する。(参加対象は基本的に全従業員とし、対象の80%以上がセミナーに参加し事後アンケートに回答することを目標とする)

知識の定着を図り「健康にとっても不安がある」「不安がある」と回答する従業員を1年に1%減少させる。

2021年度 19.3% 2020年度 80.1% 目標：2025年 75%以下

- ・喫煙率：目標：2021年度 22.3% 2020年度 22.2%以下 目標：2030年 12% (1年に1%減少)
 - ・有所見率：2021年度 33.9% 2020年度 42.9% 目標：2025年 38%以下 (最終目標：2030年 30%以下)
- ※ 有所見率＝当社基準において治療者を除いた要精密検査・要受診者

【サプライチェーンにおいて取引先の取り組みの支援（健康経営のノウハウ提供や共同実施等）】

重要なパートナーである仕入先と共に、健康経営を推進。趣旨に賛同頂いた3社と、以下の取り組みを実施。
<実施事項>

オフィスワーク・在宅勤務での「座りすぎによる健康リスク」(※1日に座っている時間が4時間未満の成人と比べ、1日に11時間以上座っている人は死亡リスクが40%も高まる)に着目し、毎年開催している、「オフィスでもできる、ストレッチセミナー」を、従業員の方々の健康施策にお役立ていただけるよう、動画を提供。その動画を用いて、自社にてストレッチセミナーを開催。

- ・株式会社ダイゾー
- ・株式会社丸一
- ・ミナトパックス株式会社

以上